

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2010.7.3 第15号

★「夏休み親子 de ホタル観賞ウォーキング」開催

私達の活動拠点のひとつ、「天神谷津」に自然発生するヘイケボタルの観賞とナイトウォーキングを企画しました。富里中央公園を起点とする約5kmの周回コースです。夏休みの思い出づくりに参加してみませんか？ 満天の星や、蛙の大合唱、静かな闇の中に動物達の息づかいを感じることもできます。是非、親子で、またはお孫さんと一緒に、多数ご参加下さい。勿論、親子以外のご参加も可能です。お待ちしております！

◇実施日 **7月17(土)、18(日)** ※雨天順延：19日(月)同時刻

◇時間 **18:30 集合、19:00 スタート～21:00 ゴール**

◇場所 ①富里中央公園 駐車場

②コース(約5km)：公園→天神谷津→立沢→公園

◇服装 長袖・長ズボン・運動靴で、懐中電灯をご持参ください。

◇参加費 100円(運営費として)

◇申し込み・問い合わせ 本誌「会員募集」欄の連絡先、または okamoton@themis.ocn.ne.jp のメールアドレスまでご連絡ください。(注)申込み締め切り日：7月15日



▼天神谷津 進入路延伸作業の現状

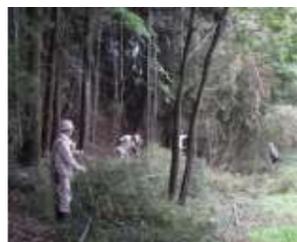
5月1日から開始した第Ⅱ期延伸作業は、5月と6月の第1・3土曜日を基本にほぼ計画どおりに進みました。雑木林に繁茂する篠竹や真竹の伐開(延長約150m)に大苦戦しましたが、6月19日には天神谷津最奥部に達し、整地作業や危険ヶ所へのロープ柵の設置も終わりました。7月開催予定のホタル観賞ウォーキングへの備えも整い、関係者一同ほっとしています。



▲刈払い機で篠竹を次々と刈り倒す。汗が噴出す。



▲木根を切り取り凹凸を鍬で整地。道らしさが...



▲真竹の枝を棒で払い落とすのも一苦労？

▼案内看板を設置

各地でホタル発生のニュースが伝えられると、気の早い人が天神谷津に虫取り網や、強力ライトを携帯している様子を見たとの報告がありました。ホタルの観賞マナー(*)を守って、地権者の皆さまにもご迷惑が掛からないようにする必要が出てきました。6月18日、天神谷津進入路入口に、手作りのホタル案内看板を設置しました。



(*)ホタル観賞マナー

- ✓ 螢は光を嫌うのでライトを当てない
- ✓ 卵を産み付けた畔に踏み込まない
- ✓ 螢を取ったり、持ち帰らない
- ✓ 民家の近くで、大声をあげない
- ✓ ゴミを捨てない

■第7回里山フェスタ (5/16)

今回は、「里山と都市-まちづくりと生物多様性の保全」と題し、市川市の和洋女子大で開催され、当会から4名が参加しました。農村部で活動している我々とは違った条件で取り組んでいる、都市での様々な里山活動について紹介がありました。



●里山ウォーク in 富里 終了 樹木植物ガイド 好評

新緑がまばゆい4月24日(土)、中沢区集会場を起点に約6kmの周回コースを約3時間かけて、21名全員が完歩しました。初めての試みとして、会員でもある星野国幸さんによる樹木・植物ガイドは、参加者の皆さんから大変好評でした。私達の活動拠点「天神谷津」でお弁当を食べた後、役員から天神谷津における生物多様性や谷津田自然観察園(仮称)についての説明があり、参加者の皆さんから大きな関心と応援を頂きました。印旛沼に注ぐ高崎川のせせらぎの音を聴きながら、富里の豊かな自然を満喫できた一日でした。次回の企画をお楽しみに！



▲野草について興味深く丁寧に説明する星野さん

▼西瓜柄の千葉ガスタンクのそばを歩くウォーカー



●ホタル観賞ウォーキング 無事終了！ 6月12日(土)



林部博一さんによるギター伴奏と歌

昨年より一週間も遅いゲンジボタルの発生に、開催が心配されましたが、82名もの皆さまに参加して頂きました。今回は、出発の前にゲストの林部博一さんに、楽しいトークとギターの弾き語りをお願いしました。少々懐かしい？歌で合唱し、皆さんの気分が和んだ所でホタルウォーキングに出かけました。

多少起伏のある道のりでしたので、子供さんたちが歩くのは大丈夫か心配しましたが、会員のエスコートもあり、全員無事に歩ききりました。勿論、発生のピークを迎えた地蔵谷津のゲンジボタルは、歓声が上がるほど見事で、感激して下さいました。



生の弾き語り演奏にいやされました。



出発前のひと時



「孫と手を繋いで歩いて、楽しかったです。」

ゴラレーション

荒廃した里山を蘇らせる仕事人「成田・里山を育てる会」

▼山林の下草刈り作業の様子



「成田・里山を育てる会」は、1999年に成田空港の騒音地区に居住する農民と、成田ニュータウンに住む住民6人で里山を再生し、次世代に豊かな自然を残していこうとの思いで発足しました。最初は、人手がなくて放置されたままの山の所有者から依頼されて下草刈りに取り掛かりました。毎月第三日曜日、荒れた山に分け入っては1日中ひたすら草刈り機のエンジンを鳴らし続けると山も見違えるほどきれいになり、爽快な気分を味わうことができました。次第に参加する人も増えるとともに、会員から「これが里山だ！」という所を育てようとの提案があり、ホテル群のある取香川沿いに里山遊歩道、空港南側に森林浴のできる自然公園(アグリパーク)を造り始めました。現在の会員は65名で、月1度の定例作業と3度の自由参加作業を行っています。これからも荒廃した山林の草刈、建築用木材林の育成、里山遊歩道とアグリパークの整備等の活動を通して、地域に豊かな自然を蘇らせようと思っております。

■入会等の問合せ先：〒286-0115 成田市三里塚 251-11 ☎0476-35-1550 Fax 0476-35-1590 事務局 相原亮司

★天神谷津★ いのちの生命のにぎわい

ウツギ(空木) 2010/6/5 撮影

初夏を告げる花としてウツギを紹介します。この植物は、萌芽力に優れ刈り込みに強いことから、昔から農地の境界木としてよく植えられておりました。今でも富里の農地を歩くと所々の畑でその名残が見られます。現在、天神谷津は緑一色の世界ですが、侵入路の数ヶ所でひとときわ真っ白な花が目にとまります。この花がウツギで、ユキノシタ科ウツギ属の植物です。名前の由来は、茎(幹)の中心部が空洞になっているので、空ろ木(うつろぎ)が変化してウツギとなったようです。また、別名の「うのはな」は、旧暦4月(卯月)に咲くことからこの名前が付けられました。この時期に咲くということは、あたかもホタルが飛び交うことを知らせてくれるのかのようにも思え、ひっそりと優雅に咲く様子が心が和みます。



会員紹介

しょうじ ひろあき 荘司 宏明さん(64才)

※生命のにぎわい「ウツギ」の文章は、荘司さんが書いて下さいました。



2009年7月 新潟・山形県境 飯豊山山頂付近にて

1945年茨城県水戸市生まれ、学生時代に山岳部に所属したことから山の魅力に取り付かれ、社会人になってからも暇さえあれば登山に熱中しておりました。1970年、転勤先の新潟で植物調査のユニークな団体「新潟県植物同好じねんじょ会」と出会い高山植物のイロハを学ぶ。1993年、富里の住人となってからも同会の会員として時間があれば年に数回高山植物の調査に同行し現在に至っております。昨年、たまたま知人の紹介で参加した里山ウォーキングで「NPO 富里のホタル」のことを知り里山の環境整備に力になればと、今年新会員となりました。天神谷津での木道造りに何度か参加するうちに、同じ山でも「里山」という、高山とは多少異なった心休まる空間に新たな魅力を感じております。会員の諸氏から見れば未熟者ですが、植物の世界を通じ微力ながら「NPO 富里のホタル」の発展の下支えになればと思っております。

会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしています !! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための環境保護活動を行っています。活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費：2000円)

現在の会員数：0118

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161